

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	スポーツひろばブレイス堺筋本町教室		
○保護者評価実施期間	2026/2/1		2026/2/14
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	2026/2/1		2026/2/14
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/5		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	脳機能改善のプログラム	こどもの、ニーズや課題を客観的に理解しながら、個別支援計画を作成し、計画に沿った支援を行っている。	プログラムに図や手順表を見ての作業を取り入れる等、就労に向けてのプログラムも組み込んでいく。
2	運動プログラム	学校体育を習得させながら、脳機能の改善をさせるため、毎月運動プログラムの内容を変更して行っている。 指導員は毎月模擬授業を行い、指導技術を高めている。	学校体育につなげるコーディネーショントレーニングでさまざまな道具を取り入れ、こどもの特性に合わせた飽きない授業づくりを行っていく。
3	保護者との連携や迅速な対応	こどものおむかえ時や、送迎時に保護者とコミュニケーションをとり、こどもの様子をすぐに情報共有することを心掛けている。ケガの際は応急手当をしたうえで、保護者へ連絡をし迅速に対応している。	学校との連携をこまかくとることや、保護者との面談の機会を増やすことで、さらにこどもの療育につなげる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流の機会がなく、地域の他のこどもたちと一緒に活動する機会が不足している。	面談時に「特に望んでいない」とのご意見が多く寄せられたことが、交流活動を行っていない要因である。そのため、現時点では活動を実施していないが、今後、保護者からの要望があれば、積極的に開催を検討していく意向である。	保護者からの要望をしっかりと受け止め、今後必要に応じて、地域の放課後児童クラブや児童館との交流活動を検討し、こどもたちが安心して参加できるような環境を整えていく。必要な場合は、小規模な交流から始めて、徐々に規模を拡大していくことも視野に入れている。
2	父母の会の活動支援や保護者会の開催、兄弟向けのイベントなど、保護者同士や兄弟同士の交流の機会が十分に設けられていない。	面談時に「特に望んでいない」とのご意見が多く寄せられたことが、交流活動を行っていない要因である。そのため、現時点では活動を実施していないが、今後、保護者からの要望があれば、積極的に開催を検討していく意向である。	今後、保護者や兄弟同士の交流が必要だと感じる場合は、まずは面談やアンケート等を通じて要望をしっかりと把握し、積極的に取り組んでいく予定である。また、無理のない範囲で、小規模なイベントや交流会を提案し、参加しやすい環境作りを進めていきたいと考えている。
3	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族向けの研修会、情報提供の機会が十分に提供されていない。	面談時に「特に望んでいない」というご意見が多く寄せられており、現時点では家族支援プログラムや研修会を実施していない。しかし、保護者からの要望があれば、今後開催を検討していく意向である。	今後、保護者とのコミュニケーションを強化し、家族支援プログラムや研修会に対するニーズを再確認した上で、参加しやすい形式(オンライン、少人数制等)で実施できるよう検討する。参加者が負担を感じずに参加できる環境を整えていく。